

天井埋込形換気扇 工事説明書

用途	居室・事務所・店舗用
タイプ	ルーバー別売タイプ・自動運転形（煙センサー付）
品番	FY-24BQ7

この換気扇は、煙センサーとマイコンにより空気の流れを感知し、自動的に運転・停止します。（8畳のお部屋でタバコ1〜3本程度の煙を感知します。）室内の空気の流れ具合を確認するために約1時間に1回約5分間運転しますが、汚れのない場合には自動的に停止します。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

してはいいない内容です。

実行しなければならない内容です。

警告

- 仕様変更・改造は絶対にしない
- D種接地工事をおこなう
- 交流100ボルト以外で使用しない
- 火災・感電・けがの原因となります。
- 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
- 火災・感電の原因となります。

■メタルラス、ワイヤラス、または金属板振りの木造造営物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付け

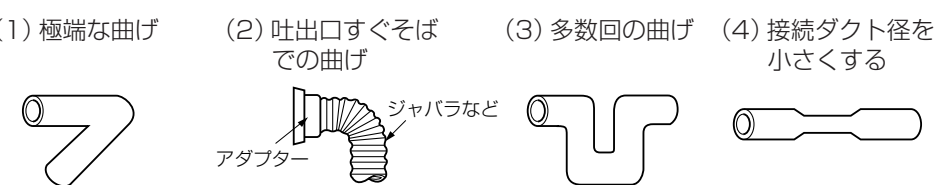
■漏電した場合、火災の原因となります。

注意

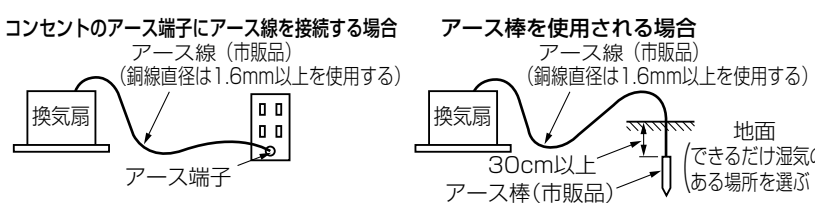
- 炎が当たるおそれのある場所には取り付けけない
- 本体は、十分強度のあるところにしっかりと取り付ける
- 浴室など、湿気の多いところに取り付けけない
- プラスチック部品が変形したり、着火して火災となるおそれがあります。
- 落下により、けがをすることがあります。
- 感電や故障の原因となります。
- 水場使用禁止
- 配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、必ず電気工事が確実におこなう
- 部品は確実に取り付け
- 取り付けの際は必ず手袋を着用する
- 誤った配線工事は、漏電、感電や火災のおそれがあります。
- 落下により、けがをすることがあります。
- けがの原因となります。

お願い

- 高温になる場所（周囲温度40℃以上）には取り付けないでください。製品の変形やモーターの寿命を縮めます。
- 点検口を設けてください。保守点検ができます。
- 給気口を設けてください。効果的な換気ができます。
- 次のような配管工事はしないでください。風量低下の原因となります。
- 台所など、油煙の発生する場所や有機溶剤がかかる場所には取り付けないでください。（ABS樹脂製ルーバーをご使用の場合）ルーバーなどの破損の原因となります。
- 傾斜のある天井面には取り付けないでください。シャッター開閉不良や結露水逆流の原因となります。



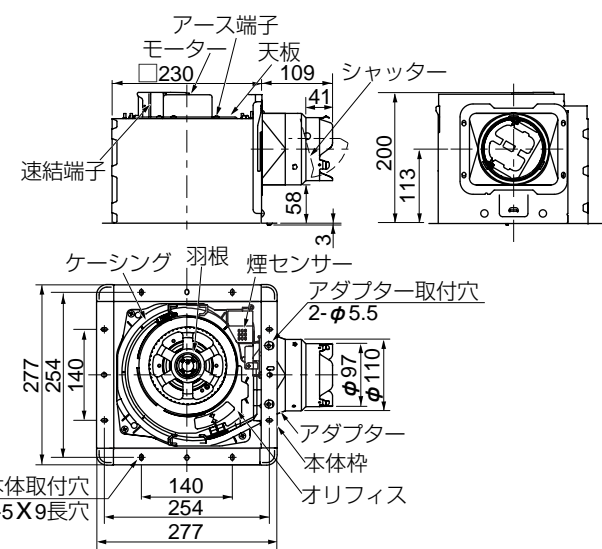
■アース工事をする場合は次のいずれかの方法でおこなってください。他の方法でおこなうと接地が十分でない場合があります。



この工事説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

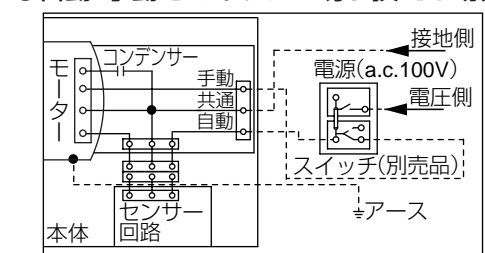
各部の名前と寸法

単位：mm



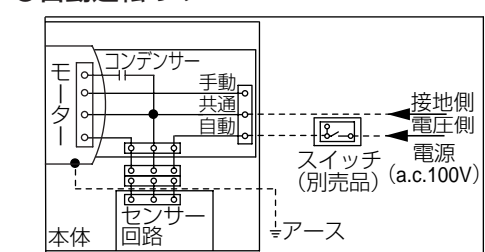
■結線図

●自動/手動をスイッチで切り換える場合



- ・スイッチはFY-SV20W（別売品）をご使用ください。
- ・破線の部分の結線は現地にて施工してください。
- ・誤結線しますとセンサーが故障しますのでご注意ください。

●自動運転のみ



- ・スイッチはFY-SV06W（別売品）をご使用ください。
- ・破線の部分の結線は現地にて施工してください。
- ・誤結線しますとセンサーが故障しますのでご注意ください。

■運転モード

- 電源スイッチを「入」にして切替スイッチを「自動」にすることにより、約1時間の強制運転後に室内の空気の汚れを感知し、自動的に運転・停止します。
- 電源スイッチを「入」にして切替スイッチを「手動」にすることにより、連続運転します。
- 自動運転の場合、室内の空気の汚れを感知しなくても、1時間に約5分間の強制運転を行います。

■運転モード

- 電源スイッチを「入」にすると約1時間の強制運転後に室内の空気の汚れを感知し、自動的に運転・停止します。
- 強制運転が必要なときには、電源スイッチを「切」にして再度スイッチを「入」にすると約1時間の強制運転ができます。
- 自動運転の場合、室内の空気の汚れを感知しなくても、1時間に約5分間の強制運転を行います。

■付属品 末尾の数字は数量をあらわします。

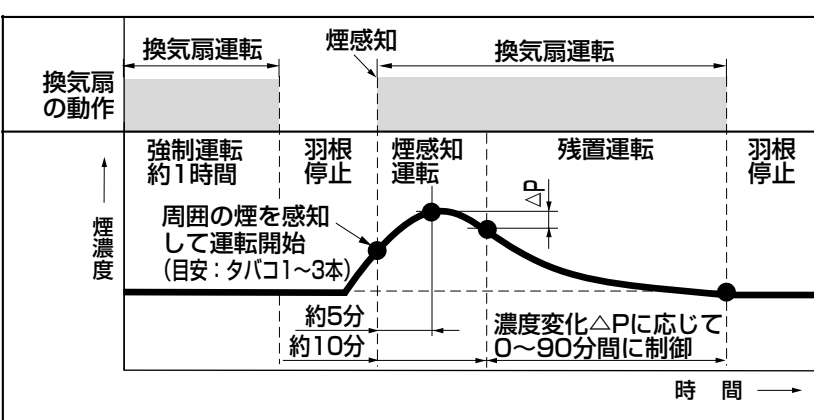
タッピングねじ	……………6
(アダプター・本体枠固定用)	
取扱説明書	……………1
(必ずお客様にお渡しください)	

■接続ダクト（市販品）

呼び径	種類
φ100 (4番)	塩化ビニル管(VU・VP) アルミフレキダクト ステンレス鋼管 鋼板スパイラルダクト

- 1個のスイッチで2台以上並列運転はできません。モーターやセンサー回路が焼損します。
- 誤結線しますと、センサー回路が故障します。
- ルーバー（別売品）は、カタログ参照のうえ選定してください。
- 別売ルーバー FY-24L15（天然木製）を使用するときは、設置当初に木材からの発生ガスを検知して自動運転する場合があります。

■運転モード



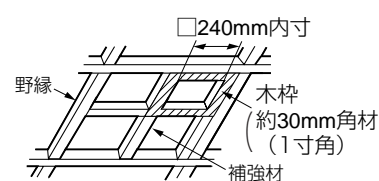
施工方法 以下の手順にしたがって施工してください。

取り付けかた

1-a 本体枠の取り付けと電源の接続（野線利用の場合）

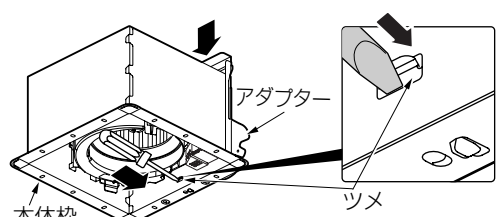
①木枠を作り、野線に取り付ける。

- 木枠には補強材を設けるなど十分に強度を持たせてください。



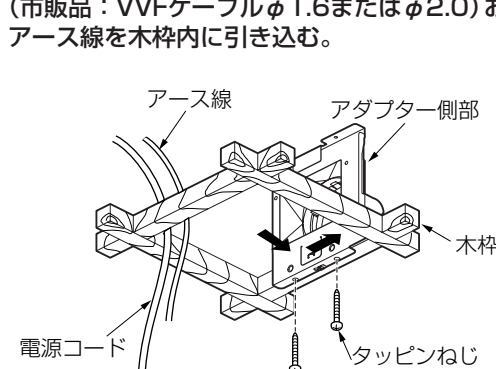
②アダプターを本体枠からはずす。

- アダプターを本体枠に引きよせながら、本体枠側面のツメの根元をマイナストライパーなどで押し、アダプターをスライドさせてはずす。

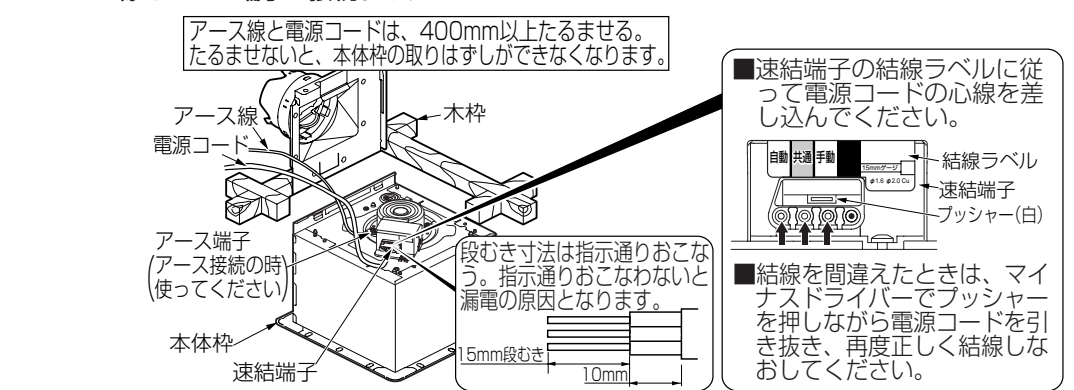


③アダプターを矢印の方向に木枠に合わせて、付属のタッピングねじ（2個）で取り付け、電源コード（市販品：VVFケーブルφ1.6またはφ2.0）およびアース線を木枠内に引き込む。

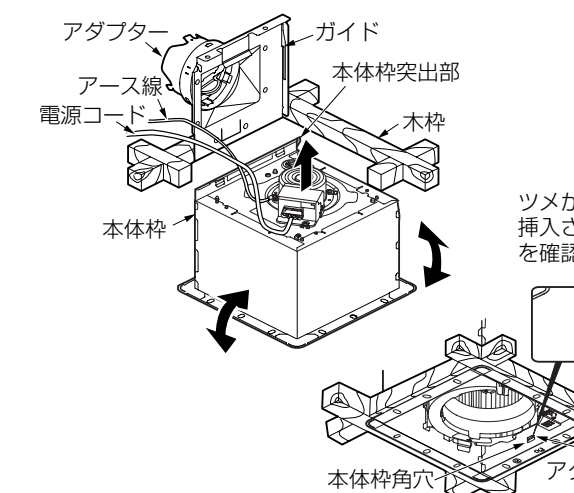
■傾かないように取り付けてください。



④接続端子に電源コードの心線がとまるまで差し込む。（結線ラベルを参照してください）アース線をアース端子に接続する。

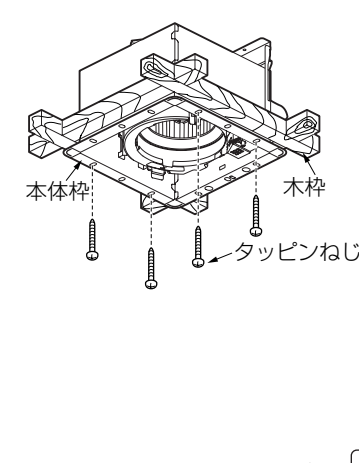


⑤本体枠突出部をアダプターのガイドに確実に通し、本体枠を木枠に挿入し、アダプターのツメが本体枠角穴に挿入されたことを確認する。



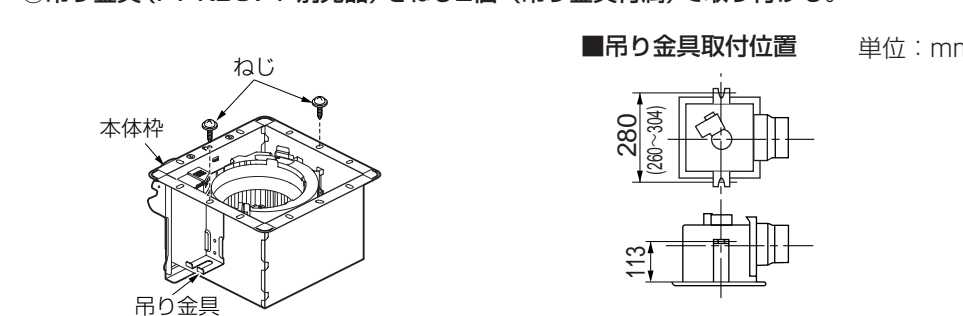
⑥本体枠を付属のタッピングねじ（4個）で取り付ける。

- 本体枠の取り付けはすき間のないように、確実に取り付けてください。風漏れ、および蒸気漏れの原因になります。

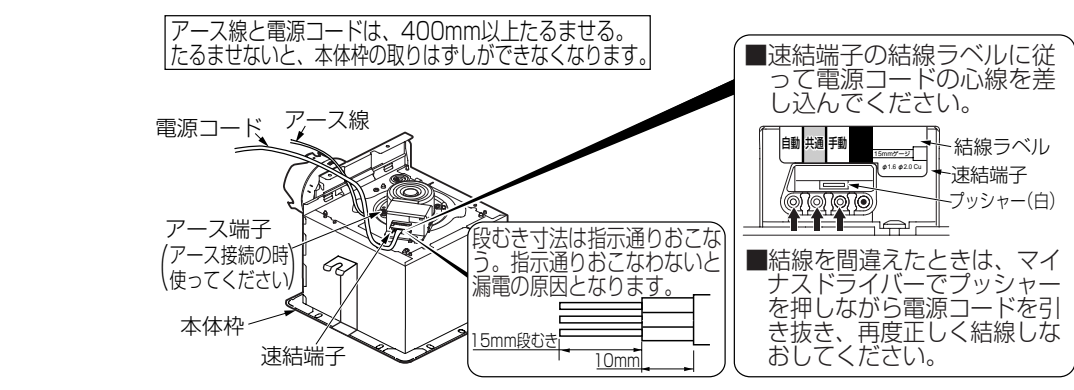


1-b 本体枠の取り付けと電源の接続（吊りボルト利用の場合）

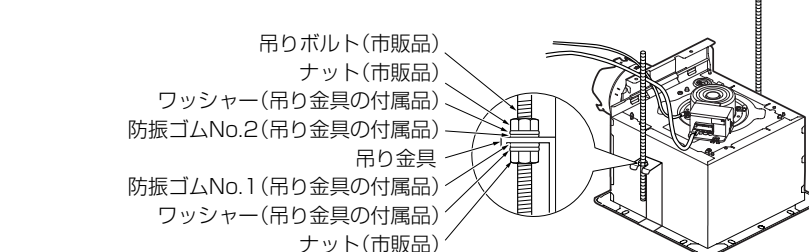
①吊り金具（FY-KB071 別売品）をねじ2個（吊り金具付属）で取り付ける。



②接続端子に電源コード（市販品：VVFケーブルφ1.6またはφ2.0）の心線がとまるまで差し込む。（結線ラベルを参照してください）アース線をアース端子に接続する。



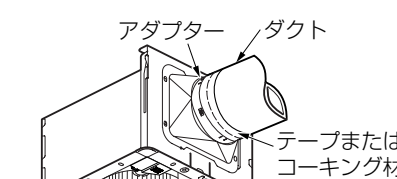
③吊り金具を吊りボルト（M8〜M10）に取り付ける。



2 ダクトの接続と天井材の貼り付け

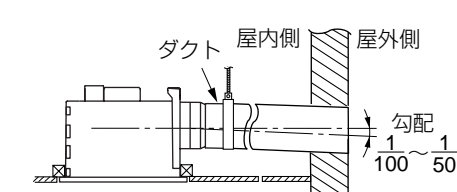
①ダクトをアダプターに差し込み、テープまたはコーキング材で確実に密封する。

- 風漏れや水漏れの原因になります。

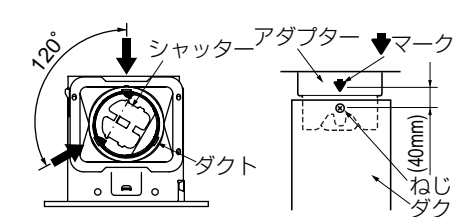


■ダクトは本体枠に力がかからないように、天井より吊り下けてください。

- ダクトは必ず屋外側に下り勾配を設けてください。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。

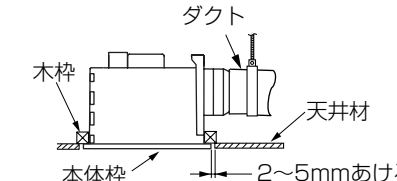


■ダクトをねじ止めする場合は、長さ10mm以下のねじを使用し1か所の場合は上部で固定してください。2か所の場合は右図の位置に固定してください。10mmより長いねじや指示以外の場所にねじ止めすると、シャッターが剛閉しなくなります。



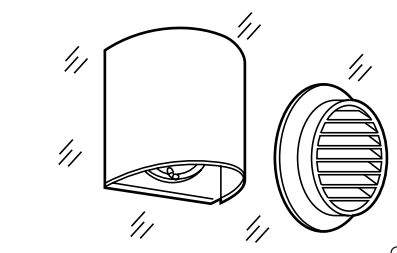
②天井材を本体枠と2〜5mmのすき間を設けて貼り付ける。

- すき間がないと製品のメンテナンスができません。



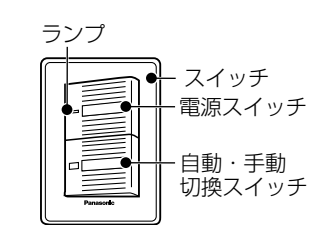
③外壁面には、パイプフード（別売品）またはベントキャップ（別売品）を取り付ける。

- パイプフードまたはベントキャップの施工方法は、それぞれの工事説明書をお読みください。



3 電源スイッチ（別売品）の接続

結線図にしたがって正しく結線する。（スイッチへの接続方法は、スイッチに付属の工事説明書をお読みください。）



→ 4へ

4-a 試運転（自動・手動運転の場合）

①電源スイッチを「入」、自動・手動切替スイッチを「自動」にし、換気扇が運転することを確認する。

- 室内の空気が汚れていないときは、約1時間運転後自動停止します。

ランプ	スイッチ	電源スイッチ	自動・手動切替スイッチ
	電源スイッチ	入 (ランプ赤色点灯※)	自動
	自動・手動切替スイッチ	切 (ランプ緑色点灯)	手動

※使用するスイッチの種類によっては点灯しない場合や暗い場合があります。

②約1時間以上あとに、換気扇の運転が停止していることを確認した後、自動・手動切替スイッチを「手動」にし、連続運転することを確認する。

- 換気扇が自動停止するまでの間、息や汚れた空気などを換気扇にあてないでください。運転時間が延長することがあります。
- 運転時、異常な騒音がないことを確認してください。

→ 5へ

4-b 試運転（自動運転のみの場合）

①電源スイッチを「入」にし、換気扇が運転することを確認する。

- 室内の空気が汚れていないときは、約1時間運転後停止します。

ランプ	スイッチ	電源スイッチ
	電源スイッチ	入 (ランプ赤色点灯※)
		切 (ランプ緑色点灯)

※使用するスイッチの種類によっては点灯しない場合や暗い場合があります。

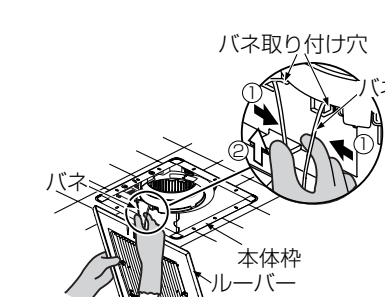
②約1時間以上あとに、換気扇の運転が停止していることを確認する。

- 換気扇が自動停止するまでの間、息や汚れた空気などを換気扇にあてないでください。運転時間が延長することがあります。
- 運転時、異常な騒音がないことを確認してください。

→ 5へ

5 ルーバーの取り付け

ルーバーのパネをつまんで、パネ取り付け穴に差し込んで固定する。



ご参考（ファンモーターユニットのはずしかた）

- ファンモーターユニット固定用のねじ（4個）を取りはずす。
- 本体枠側面のツメ（2か所）を押さえ、ファンモーターユニットを下側に引き出す。組み立ては取りはずしの逆の順序で確実に固定してください。

